

ヨーロッパザラボヤ関係調査結果

※北海道ほたて漁業振興協会からの受託研究で実施

道総研中央水産試験場

◎ヨーロッパザラボヤ浮遊幼生調査

1月6日に祝津ホタテ養殖漁場のホタテ部会の試験用桁に垂下した試験籠（5月12日垂下）への付着状況を確認しましたが **41 個体と、2019 年並みに減少しました**（図1）。11月から12月にかけて付着数が急減しましたが、例年の同時期にこのような急減は見られないことから、**今年度の11月から12月に付着数が急減する何かがあった**と考えられます。付着サイズは平均52.0mm（最大75.2mm、最小30.7mm）と先月よりも大型化しました（図2）。ザラボヤ付着器には付着は確認できず（表2）、籠への小型個体の付着も確認されなかったことから（図2）、**11月中旬から12月中旬ごろに籠への新規の付着はほとんど無かったもの**と考えられます。

表1：ヨーロッパザラボヤ浮遊幼生調査結果

場所	水深	水温 【℃】	クロロフィル 【μg/L】	ザラボヤ	
				個	個/トッ
ホタテ部会の調査桁	0~30m	7.4~7.4	0.32~0.86	未調査	

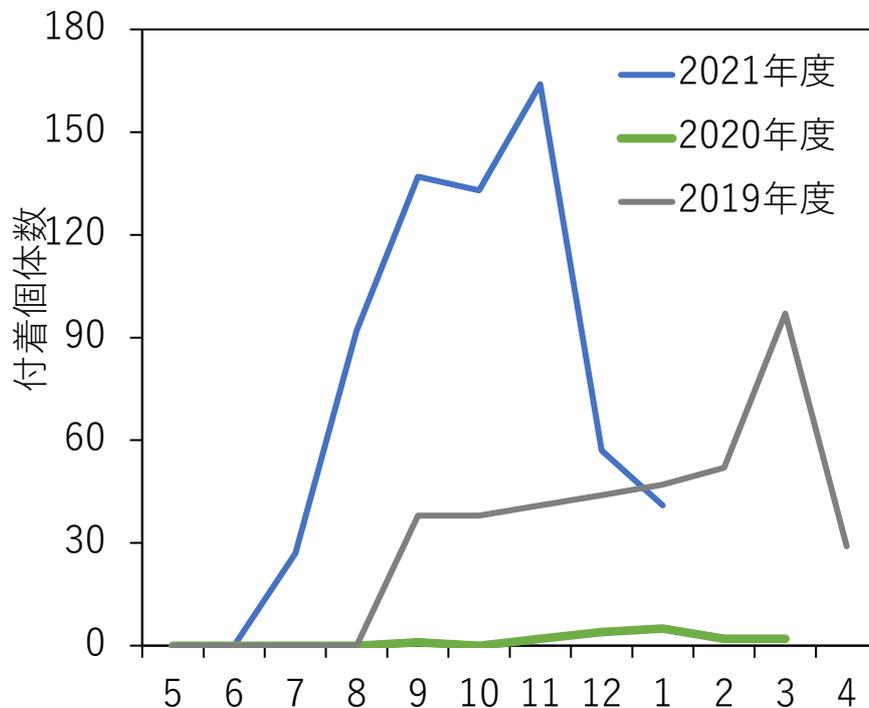


図1：籠へのヨーロッパザラボヤの付着数の変化

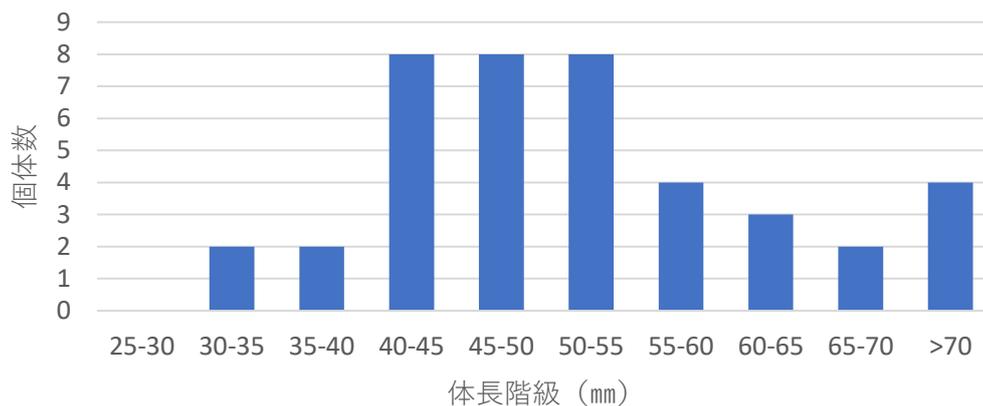


図2：体長階級別ザラボヤ付着個体数

表2：ザラボヤ付着器への付着数

設置	回収	付着数
5月12日	7月14日	21
6月16日	8月6日	0
7月14日	9月15日	1
8月6日	10月7日	0
9月15日	11月18日	3
10月7日	12月10日	0
11月18日	1月6日	0

写真1 ザラボヤ付着器



【参考資料】

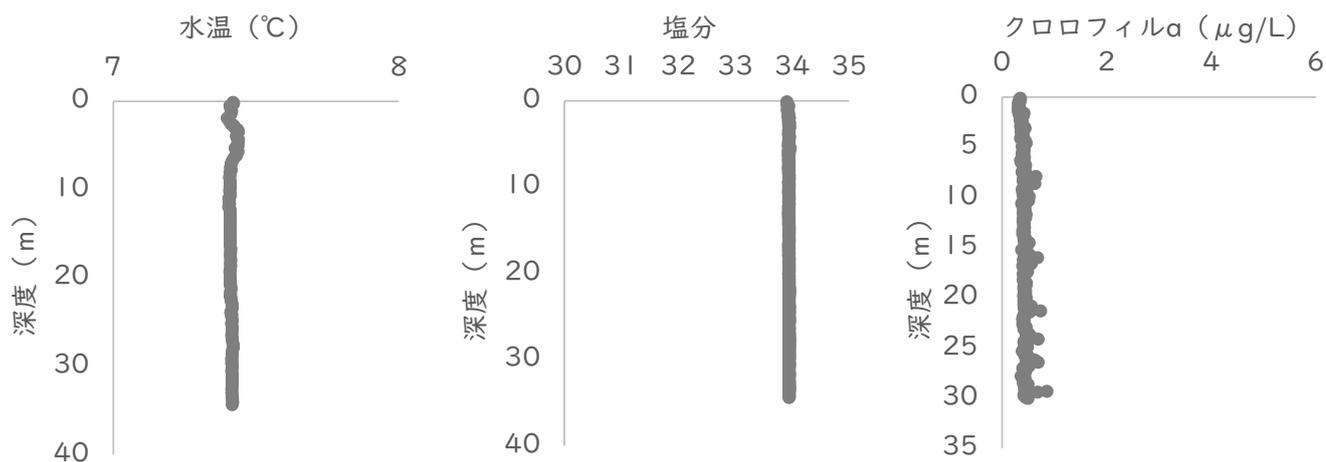


図3：ホタテ部会調査桁の水温・塩分・クロロフィルの鉛直分布

◎ヨーロッパザラボヤ調査は今後継続して実施します（次回調査：2月中旬に実施予定）。
 ※調査結果は中央水産試験場 HP から確認できます。

<https://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/zoushoku/tkh4vd0000002m9a.html>